

各位



第7回大阪アジア映画祭

OSAKA ASIAN FILM FESTIVAL 2012

大阪アジア映画祭、2012年3月開催決定！

7月よりコンペティション部門、作品募集開始！

毎年春3月、「大阪発。日本全国、そしてアジアへ！」を合言葉に開催している大阪アジア映画祭。今年度も、2012年3月9日（金）～18日（日）、ABCホール（福島）他で開催することが決定いたしました。

前回（第6回）から新たにスタートしたコンペティション部門では、すべての出品作品がジャパンプレミアで、その多様なアジア映画が大きな反響を呼びました。その栄えある第1回グランプリには香港映画『恋人のディスクール』が選出され、表彰式は大いに盛り上がりました。

今回も前回に引き続きコンペティション部門を実施します。つきましては、日本映画はもちろん、アジア作品およびアジアに深く関わる長編作品を広く募集します。入選作品は会期中ABCホールほかで上映し、これらを対象に、国際審査委員による厳正な審査により、グランプリ（最優秀作品賞）、来るべき才能賞のほか、スポンサーアワード（ABC賞）等の授与を予定しています。募集開始は7月1日、募集締め切りは2011年11月25日（必着）といたします。詳しい募集規約は別紙のとおりです。関係各位への、ご案内のほど、よろしくお願ひいたします。

大阪にアジアの新風を呼び込む当映画祭に、皆さまの応援をよろしくお願ひいたします。

その他「第7回大阪アジア映画祭」の主な開催事業は、

- ・ コンペティション部門と特別招待部門、さらに特集部門を設け、いずれも日本初上映のアジア映画最新作を中心に上映します。また多彩なゲストを迎え、ティーチインやトークイベント等を開催します。
- ・ インディ・フォーラム部門は、大阪市ほかが進捗する若手映像作家の人材育成事業である「シネアスト・オーガニゼーション大阪（C02）」で完成した助成作品や気鋭のアジア作品を上映。国内外からのゲストを交えた上映会&シンポジウムも行います。
- ・ おおさかシネマフェスティバルは、イベントとして実施。2011年に大阪で上映された映画の中から、大阪の映画関係者&映画ファンが選ぶベストテン作品賞&個人賞の表彰式も行います。
- ・ また前回同様、多彩なゲストを迎えてウエルカム・パーティを開催するほか、特別フォーラム、交流イベントなども行います。

これらの事業も含め、詳細につきましては、決定次第リリースしてまいります。

大阪アジア映画祭2011 コンペティション部門〈受賞結果〉

- ◆ グランプリ（最優秀作品賞） 『恋人のディスクール』（2010年／香港／監督：デレク・ツァン、ジミー・ワン）
- ◆ 来るべき才能賞 バンジョン・ピサントナクーン氏（『アンニョン！君の名は』監督）
- ◆ ABC賞 『アンニョン！君の名は』（2010年／タイ／監督：バンジョン・ピサントナクーン）
- ◆ 観客賞 『一万年愛してる』（2010年／台湾／監督：北村豊晴）

お問い合わせ：大阪アジア映画祭 運営事務局 TEL.06-6373-1211 FAX.06-6373-1213

E-mail:info@oaff.jp HP:http://www.oaff.jp



第7回大阪アジア映画祭 コンペティション部門 作品募集規約

別紙

名称 第7回大阪アジア映画祭

主催 大阪映像文化振興事業実行委員会(大阪アジア映画祭)

会期 2012年3月9日(金)~18日(日)

応募 A. 出品料:無料とする。

B. 応募資格:次の条件を満たしていること

1. アジアの作品であること。または、アジアと深い関係を有する作品であること。
2. 作品の完成形態が、35ミリ又は16ミリのフィルム、もしくはビデオであること。
3. 日本の劇場又はテレビ放映などで、2012年3月20日以前に一般公開されていない作品であること。
4. 2010年10月1日以降に完成したものであること。
5. 60分以上の作品であること。

C. 応募作品:応募は次に挙げる資料を提出することとする。

1. 1/2インチのVHSビデオテープ(NTSC/PAL)、又はDVD(リージョンフリー)。
2. 応募用紙
3. 作品概要・作品解説(日本語又は英語)
4. スチール写真(異なる種類のもの3~5枚)

D. 送料・自己責任:応募作品の映画祭事務局までの輸送に関する経費は応募者の負担とする。また、応募作品の映画祭事務局受領時までの紛失、破損などの事故に関しては、主催者側は責任を負わない。

E. 応募作品の返却:応募作品その他資料は返却されず、事務局で保管・活用することとする。

F. 応募先:大阪アジア映画祭 運営事務局 〒530-0014 大阪市北区鶴野町4 B-801

tel. 06-6373-1211 fax. 06-6373-1213 e-mail.info@oaff.jp

G. 応募期間:2011年7月1日~11月25日(必着)

H. 応募上の注意:

1. 応募にあたっては、作品に使用した著作権について必要な手続きを済ませることとする。万一、第三者から権利侵害、損害賠償等の請求がなされた時は応募者は自らの責任と負担で対処するものとし、主催者側は一切の責任を負わない。
2. C.の素材・資料発送と同時に、応募の旨をFax.またはメールにて事務局宛に通知することが望ましい。

賞 A. 映画祭審査委員会はコンペティション部門で上映された作品、及びその関係者から以下の賞を授与する。

1. 最優秀作品賞(グランプリ)(賞金50万円):審査委員会が最も優秀であると決定した作品に授与。
2. 来るべき才能賞(賞金20万円):審査委員会が最もアジア映画の未来を担う才能であると決定した人に授与。

B. 映画祭審査委員会または事務局は、その裁量で以上の賞に加えて特別賞などその他の賞を授与することができる。

C. 観客の投票により最多支持を得た作品に観客賞を授与する。

審査委員会

コンペティション部門上映作品を審査する審査委員会は3~5名の審査委員で構成され、映画祭事務局によって選定される。

入選作品の製作・配給・興行に関わる者、および本映画祭主催組織に関わる者は、審査委員の資格を有しない。

入選作品

A. プログラム:応募作品の選考は、プログラミング・ディレクターを含む事務局によって行われ、上映プログラムは、コンペティション部門とその他部門の振り分け、入選資格の判定も含め、プログラミング・ディレクターによって最終決定される。

B. 入選作品

1. 入選した作品については、速やかに応募者に通知する。
2. いったん本映画祭における上映に同意した者は、いかなる事情であれ上映を撤回できないものとする。
3. 事務局が特別に書面で許可した場合を除き入選作品を本映画祭閉幕日以前に日本で上映・放映することはできない。
4. 入選作品に関しては、1作品につき監督1名を本映画祭に招待するものとし、その渡航費・宿泊費は主催者側の負担とする。

C. 上映・広報素材:入選決定作品の出品者は、以下の素材を事務局が別途指定する送り先、期日までに送付すること。その送付に伴う経費は主催者側の負担とする。

1. 英語字幕付き原語版の上映素材(台詞が英語である場合は、英語字幕は不要)
2. 原語台本、英語字幕台本、スポッティング・リスト
3. 作品の代表スチール写真、監督の顔写真
4. 予告編
5. ポスター3枚

D. 広報:上映作品に関しては、応募者の同意の上、応募用紙に記載されたデータ及び広報素材を、本映画祭のサイトや新聞、雑誌、テレビなどのメディア媒体で活用するものとする。

E. 上映

1. 上映は、原則として原語版(英語・日本語字幕付き)で行われる。ただし原語が英語の場合は日本語字幕付きで、原語が日本語の場合は英語字幕付きで上映される。ただし本条項の適用については主催者側が最終決定する。
2. 日本語字幕の翻訳・製作は、主催者側の負担で行われる。ただし日本に当該作品の上映権利保有者が存在する場合は、原則としてその保有者が作成した日本語字幕が提供されるものとする。

効力 本規約は日本語版が全てに優先する。本映画祭に応募・出品することは、この規約の承認と遵守を意味する。

問:大阪アジア映画祭 運営事務局 tel. 06-6373-1211 fax. 06-6373-1213 e-mail.info@oaff.jp website.www.oaff.jp